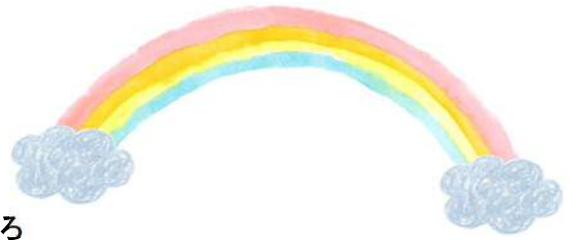


にじいろ通信



令和3年5月31日 第3号 札幌市立認定こども園にじいろ

にじいろホームページは 認定こども園 にじいろ で検索してください。

温かな日差しの下で、戸外活動を存分に楽しめる季節になりました。園庭には元気な子どもたちの声が響き渡っています。

乳児クラスの赤ちゃんがベビーカーに乗っていると、幼児クラスの子どもたちが「かわいいね～」と近寄って顔をのぞきこんだり、「おっ！むしがいた」と喜んでいる子どものそばで「みせてみせて」とみんなで頭を突き合わせたり、異年齢の子どもたち同士が自然に交流しています。

跳んだり走ったり、砂に触れて泥だらけになったり、草花や虫の観察をしたりと、戸外で自然に触れながら体を動かすことで、気持ちを開放して伸び伸びと遊ぶことができます。それぞれの年齢に合わせた遊びを取り入れながらも、子どもたちが「やってみたい」「たのしい」と感じる経験をたくさん積み重ねられるようにしていきます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事の中止や縮小になることもありますが、その中でも「どんなことができるかな」と前向きな方法を考えながら、子どもたちにとって楽しい経験を見つけたいと思います。

保育教育主任 浅野 伸江

6月行事予定

2日(水)	耳鼻科健診(3~5歳児)	22日(火)	ぱんだ徒歩遠足予備日
8日(火)	らいおんプレイデー	23日(水)	園医健診(乳児、3~5歳児)
9日(水)	きりん徒歩遠足	24日(木)	ぱんだプレイデー
10日(木)	らいおん徒歩遠足	25日(金)	交通安全教室
15日(火)	きりんプレイデー らいおん徒歩遠足予備日	27日(日)	サンデーサロン
16日(水)	避難訓練	28日(月)	うさぎ、ぱんだ個人懇談
17日(木)	ぱんだ徒歩遠足 にじいろで遊ぼう	29日(火)	うさぎ、ぱんだ個人懇談 誕生会
18日(金)	きりん徒歩遠足予備日	30日(水)	らっこ、ぱんだ個人懇談

☆徒歩遠足は、新型コロナウイルス感染予防のため、公園へ散歩に行き、園に戻ってから給食を食べます。詳細は、後日各クラスよりお便りを配布します。

☆コロナウイルス感染状況に応じて行事予定が変更になる場合があります。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止や延期になっている行事があります。ご確認ください。 中止 —— 延期 ——

7月行事予定

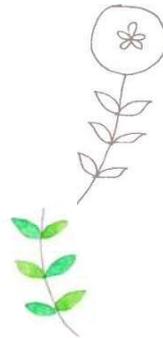
1日(木)	らっこ、きりん個人懇談	8日(木)	らいおん祭り	19日(月)	避難訓練
2日(金)	きりん個人懇談	12日(月)	らいおん個人懇談	20日(火)	にじいろで遊ぼう 幼稚園見学会
	にじいろのご配布(2~5歳)	13日(火)	らいおん個人懇談	21日(水)	終わりの式
5日(月)	きりん個人懇談	14日(水)	らいおん個人懇談 誕生会	25日(日)	サンデーサロン
6日(火)	こあら個人懇談				
7日(水)	こあら個人懇談	15日(木)	にじいろのご回収日(2~5歳)		

水遊び が始まりました

暑い日には、心も体も開放して水や泥で思い切り遊び、札幌の短い夏を楽しみたいと思います。先日気温が上がったので、体を濡らさずに涼しさを感じられるような遊びをしました。シャンプーボトルに入れた色水遊びでは、水が出てくる感覚や、出す量によって混ざりあう色合いの違いを楽しんでいました。



らいおん組の活動を紹介します！



らいおん会議での話し合いを通して、クラスで育てたい作物や、自分が世話をしたい花を話し合って決めました。先日、①コスモス ②ひまわり ③ペチュニア ④百日草 ⑤マリーゴールド の5つのグループに分かれて花の種を蒔きました。実際に種を見て、「こんな色なんだね!」、「小さくてかわいいね」など、じっくり観察をしながら友達と感想を伝え合っています。

「早く大きくなってね」、「何色のお花が咲くのかな?」と今から生長を楽しみにしている子どもたちです。今後は自分たちで決めた野菜やカイコを飼育する予定です。

責任をもって世話をすることを通して、発見や生長を友達と共有したり、子どもたち同士で工夫をし、どうしたらうまくできるのかを考えたりしながら、命の大切さを学んでいってほしいと考えています。



お知らせ

自転車での登降園にご注意を！

国際大学の木村先生が、保育教諭の研修のため、子どもたちの遊びの様子をビデオで撮影することがあります。個人情報への漏洩に気を付け、園内での研修のみに使用しますので、ご了承ください。

交通ルールを守って、安全に乗ってください。また、お子さんが自転車に乗って登降園するのは、危険なのでやめましょう。

5月の苦情・ご意見は、3件でした。

お子さんの怪我の報告がなかったことや、一人一人のお子さんについて、しっかりと丁寧に見てほしいというご意見でした。

この件について、職員会議で話し合いました。

- 怪我の報告は、子どもの命にかかわる重要なことなので、必ず行う。
- 連絡報告の漏れがないように声を掛け合い、丁寧に保育をしていく。
- 子どもの年齢や発達状況に応じて、見通しをもち保育をしていく。

職員で再確認し、今後の保育を見直していきます。ご意見をありがとうございました。